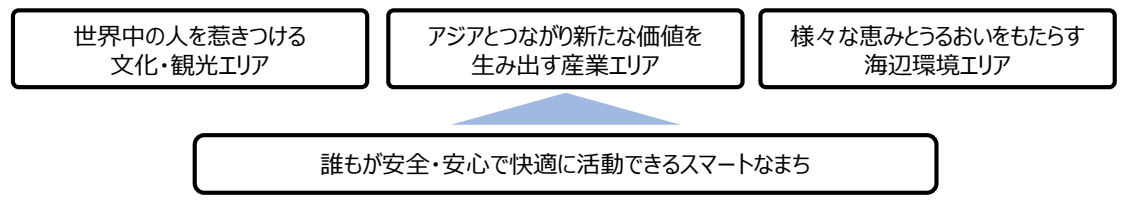


■大阪広域ベイエリアまちづくりビジョンの目的

夢洲における万博・IRのインパクトや関連インフラ整備の効果、泉州地域沿岸部の様々な地域資源を活用し、ベイエリア全体の活性化、さらなる大阪・関西の発展につなげるため、2050年を長期目標とした大阪広域ベイエリアの将来像を示すとともに、様々な主体の取組みの基本的な方向性を示す。

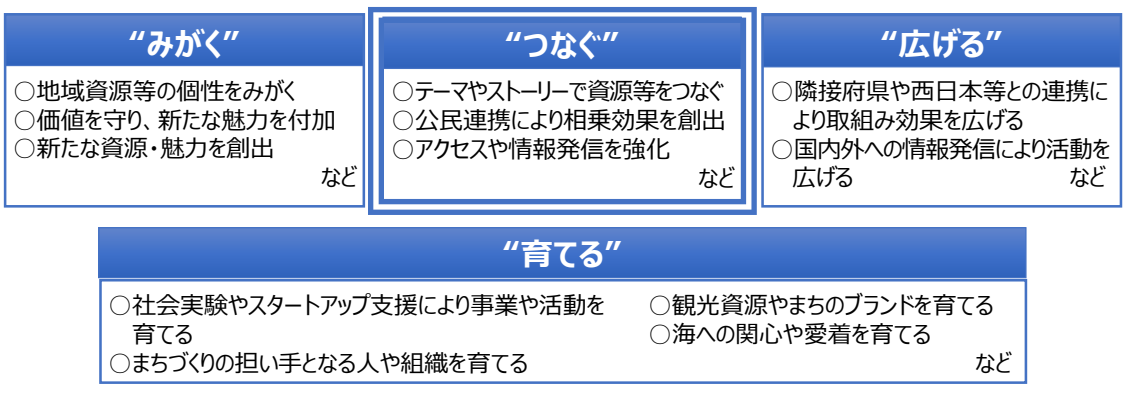
■2050年の大阪広域ベイエリアがめざす姿

(仮) 人・モノ・空間・時間をつなぐ大阪広域ベイエリア  
多様な交流により、最先端技術と由緒ある歴史・文化、豊かな自然環境が調和し、豊かな暮らしと大阪・関西の持続的発展を実現



■取組みの方向性

各地域の特徴を活かしながら、地域資源やストックを“みがき”、“つなぎ”、広域に“広げる”とともに、めざす姿の実現に向けた様々な取組みを“育てる”ことで、大阪広域ベイエリア全体の魅力を高める。なお、新型コロナウイルスの影響を踏まえて取り組む。



■重点的な取組み（つなぎ・広げる）

【海上交通の活性化】

- (取組みの方向性)
○大阪湾内の拠点を結ぶネットワークを充実させることで、多様な移動手段の確保、ベイエリアの回遊性の向上を図る。
○海の駅の連携など、海洋性レクリエーションの活性化を図る。
○大阪湾と瀬戸内・西日本等を結ぶネットワークの形成、水都大阪・淀川舟運との連携、周遊クルーズの充実等によりベイエリアの魅力高める。

- <具体例>
・クルーズ客船の母港化
・湾内船着場規格の統一、船着場までのアクセスの快適性・利便性向上、船着場周辺のにぎわい創出・魅力向上
・寄港地、停泊地周辺の地域魅力の向上 (集客施設との連携、みなとオアシスの認定など)
・海と川を運行可能な造船
・自転車など、他の交通手段との連携
・船内コンテンツの充実
・定期運航に向けた支援、柔軟な法制度の運用 など



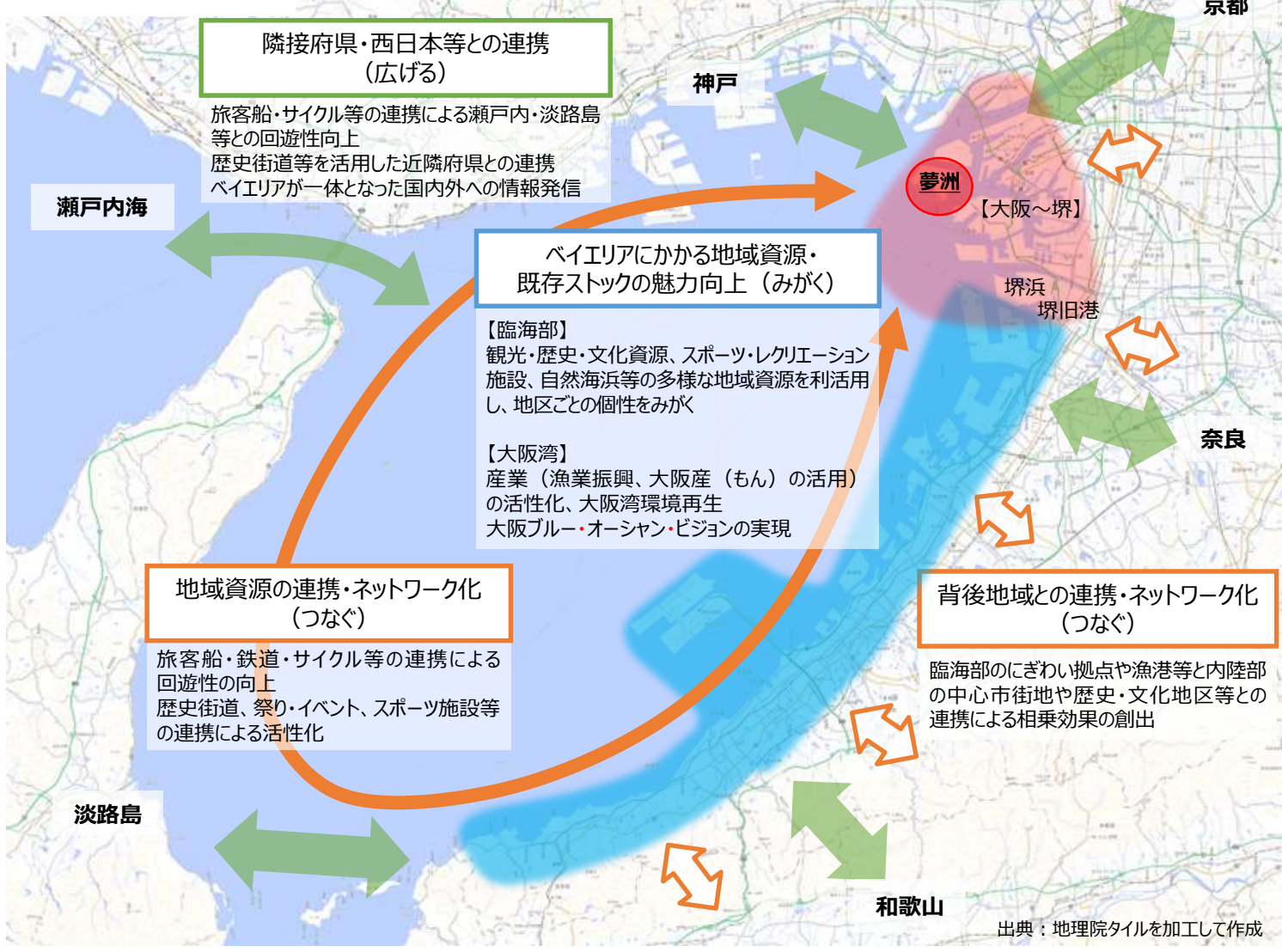
【広域サイクル連携の推進】

- (取組みの方向性)
○大阪広域ベイエリアは琵琶湖と淡路島の間に位置し、泉州サイクルルートや海上交通等を活用し、各サイクルルートをつなぎ広域サイクルネットワークを形成するなど、観光やスポーツとしてのサイクリング環境を整備し、新たな人の動きを創出する。
○安全に通行できるサイクルルートの設定やシェアサイクルの効果的な活用により、内陸部から臨海部へのアクセスや臨海部の回遊性の向上を図る。

- <具体例>
・サイン表示など、統一した通行環境整備
・サイクルルートの周知・情報発信 (アプリやマップの活用など)
・利用タイプに応じたシェアサイクルの導入 (長距離型、観光型など)
・サイクルサポートステーションの設置促進
・にぎわい拠点の整備や誘客イベントの実施など、まちの周遊魅力の向上
・海上交通 (フェリー、渡船など) や鉄道など、他の交通ネットワークとの連携 など



取組みの方向性イメージ



出典：地理院タイルを加工して作成

※本資料に記載の内容は確定したものではありません。今後の関係者との協議を踏まえ、適宜、見直します。

# 大阪～堺の取組み

「海の玄関口」として、最先端の技術を活かして、歴史・文化資源、豊かな観光資源等の良質なストックを連携・活用し、内陸部の各拠点とベイエリアが一体となった国際観光・交流拠点を形成するとともに、海辺のレクリエーション拠点として魅力のあるウォーターフロントを形成。あわせて、地域や企業の立地ニーズに対応した適切な土地利用を誘導し、産業・業務機能の強化を図る。

さらに、ベイエリア内の回遊性の向上や他の地域の多様な資源と連携し、広域的につなぐ取組みを進めることで、大阪広域ベイエリアの活性化を図る。

## 【みかく】

### (夢洲)

- 大阪の成長をけん引するIRを核とした新たな国際観光拠点の形成
- 大阪の成長を支える国際物流拠点の充実
- ベイエリアの各地域との連携によるさらなる経済振興・都市魅力向上



### (堺浜)

- 海辺の特性を活かしたにぎわい機能や親水空間、スポーツや健康づくりの場の創出により、海辺のレクリエーション拠点として魅力あるウォーターフロントを形成
- 先端技術や成長機会を取り込み、新産業を創出

イメージ



マリナレジャーなど、新しい使い方の水辺空間



### (堺駅・堺旧港)

- 環濠都市の歴史文化や貴重な資源を活かし、関西のゲートウェイとして、国内外から人が集まり、新たな経済、文化、ビジネスなどが創出される交流拠点を形成
- ベイエリアと内陸部を結ぶ新たな交通システムの導入により、人中心の快適で魅力的な都市空間の形成を図ることで、新たな人の流れを創出
- 環濠エリアでは、水辺や歴史的なまちなみを活かした堺ならではの魅力を創出

イメージ



イメージ



### (その他)

- 海につながる河川の舟運環境整備
- スポーツ・レクリエーション需要に対応したまちづくり
- ベイエリアの公共用地・公共施設の有効活用
- 成長著しいアジアとのビジネス交流・交易拠点の形成
- 公園・緑地の活性化、みどりの保全
- ウォーターフロントの豊かな魅力を活かした快適な居住空間の形成
- 優れた眺望景観・夜間景観の創出、海から見える魅力的なまちなみ形成



## 【つなぐ】

### (交通ネットワークの連携)

- 海上交通の一大ターミナルの形成 (クルーズ客船の母港化、海の玄関口としての機能強化)
- 海上交通ネットワークの形成 (夢洲～堺～関空、水の回廊・淀川、兵庫の海上アクセス構築など)
- 内陸部から臨海部への交通アクセスの向上 (夢洲アクセスの整備、新たな交通システム等の導入など)
- ベイエリアの回遊性の向上 (シェアサイクルの活用、旅客船による周遊など)

### (ソフト・イベント連携)

- 観光連携 (夢洲～堺旧港～世界遺産、大阪～堺～泉州地域の周遊ルートの構築など)
- 伝統文化を核とした連携 (住吉祭、だんじり、ふとん太鼓等と連携したイベント実施など)
- スポーツ連携 (スポーツ施設を活用したプロ・アマの大会やイベントの実施など)
- 景観資源を活用した連携 (大阪～堺の夜景クルーズ、フォトコンテストなど)

### (産業連携)

- アイデアと中小ものづくり企業とのマッチング
- 医工連携など、異業種間連携の促進

